

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【公表番号】特表 2019-505605 (P2019-505605A)

【公表日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2018-527185 (P2018-527185)

【国際特許分類】

C 0 9 D 127/12 (2006.01)

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

H 0 1 M 8/0221 (2016.01)

H 0 1 M 8/0213 (2016.01)

H 0 1 M 8/0206 (2016.01)

H 0 1 M 8/021 (2016.01)

C 0 9 D 127/16 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

C 0 9 D 163/10 (2006.01)

H 0 1 M 8/0228 (2016.01)

H 0 1 M 8/10 (2016.01)

【 F I 】

C 0 9 D 127/12

H 0 1 B 1/22 A

H 0 1 M 8/0221

H 0 1 M 8/0213

H 0 1 M 8/0206

H 0 1 M 8/021

C 0 9 D 127/16

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/24

C 0 9 D 163/10

H 0 1 M 8/0228

H 0 1 M 8/10 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 25 日 (2019.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも（組成物の質量％で）、

導電性充填剤として、その質量平均サイズが  $1\ \mu\text{m}$  から  $100\ \mu\text{m}$  の間である、75 質量％～95 質量％の導電性微小粒子と、

疎水性、金属接着性のポリマーマトリックスとして、以下の少なくとも 2 種の異なるポリマーを含む、5 質量％～25 質量％のポリマーマトリックス（「P」と表す）：

a) P 1：質量平均分子量（「Mw」と表す）が  $100000$  から  $1000000\ \text{g}$  /

m o l の間である、熱可塑性フルオロポリマー、

b) P 2 : ガラス転移温度が 3 0 から 1 5 0 の間である熱硬化性樹脂を含む、疎水性、導電性、金属接着性のコーティングとして特に有用な固体組成物。

【請求項 2】

微小粒子の含量が、8 0 質量% ~ 9 5 質量%の範囲内である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

微小粒子が、黒鉛微小粒子を含む、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

ポリマー P 1 が、フッ化ビニリデンのホモポリマーまたはコポリマーを含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

ポリマー P 1 が、5 0 未満のガラス転移温度を有する、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

ポリマー P 1 が、2 5 0 未満の融点を有する、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

熱硬化性樹脂 P 2 のガラス転移温度が、8 0 から 1 5 0 の間である、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

P 2 が、ビニルエステル樹脂を含む、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

P 2 / P 1 質量比が、0 . 2 から 5 の間である、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 0】

固体組成物中のポリマー P 2 の含量が、2 質量% から 1 5 質量%の間である、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 1 1】

少なくとも、その表面が少なくとも部分的に金属である基体であって、少なくとも前記金属部分が、請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の固体組成物で被覆されている前記基体。

【請求項 1 2】

請求項 1 から 1 0 のいずれか 1 項に記載の固体組成物で被覆されている、燃料電池用のスチールバイポーラプレート。